

研究機関：広島大学

研究課題名	慢性肝疾患患者におけるかゆみ症状に関する研究
研究責任者名	広島大学医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰
研究期間	2018年7月27日(倫理委員会承認後)～ 2029年 12月
対象者	2001年1月から2028年12月の間に、広島大学病院消化器代謝内科および関連施設を受診した慢性肝疾患を有する患者さん。

慢性肝疾患患者においてかゆみ症状が問題になることは広く知られています。同症状に対する薬物として Nalfurafine hydrochloride が 2015/5 月に効能を取得し、臨床の場にも導入されています。多くの施設でその治療効果等に関して検討が行われていますが、まだ導入から日が浅く、検討

本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は、身長、体重、性別、既往歴、血液検査、かゆみ症状の情報（アンケート結果）です。（個人を特定可能な情

広島肝臓 study group に登録する 28 機関

茶山 一彰) に情報を集め、

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。